

知立市生成AIサービス導入委託業務 公募型プロポーザル方式 質問の回答書

令和8年6月3日時点

質問番号	質問事項	質問内容	回答
質問1	プロポーザル業務仕様書について	仕様書 6.セキュリティ・非機能要件（必須）において、「ファイル無害化ソリューションとの連携等によるセキュアなファイル受け渡し」が必須要件として記載されていますが、提案において以下のような代替措置を講じる場合でも、一定の評価対象として提案することは可能でしょうか。 ・ RAG機能において参照元（出典）をファイル名等で明示 ・ アップロード対象ファイルの運用ルール策定（LGWAN側での事前無害化など） 上記のような「運用+機能」による代替的なセキュリティ担保について、提案可否及び評価上の取扱いについてご教示ください。	代替措置（運用ルールを前提とした提案）でも問題なく評価対象となります。 本市におけるファイルのアップロード取扱いは、提案されるサービスの形態によって以下のように想定しています。 1. LGWAN-ASPによる提供の場合 庁内端末から直接アクセス可能なため、ファイル無害化ソリューション等を経由したアップロード処理は不要と考えております。 2. インターネット接続環境（Web分離環境）経由による提供の場合 ネットワーク分離の制約上、ローカル端末から直接アップロードができません。そのため、本市が既に導入している「Smooth File」を用いて、職員が手動でインターネット環境へファイルを受け渡した上でアップロードする運用ルールを前提としていただいで構いません（要件を満たします）。 なお、業務効率化の観点から、もし事業者様側で上記の手動運用よりもシームレスかつセキュアな連携手法（独自の代替システム等）をご提案いただける場合は、加点要素としてより高く評価いたします。
質問2	プロポーザル実施要領について	プロポーザル実施要領「10. プレゼンテーション及びヒアリング」より、企画提案内容のプレゼンテーションに「実機デモ」を含むことは可能でしょうか。	可能です。実機を用いたデモンストレーションによる提案を推奨いたします。 なお、審査会場には大型ディスプレイ（65インチ）若しくはHDMIプロジェクタ、HDMIケーブル（長さ4m程度）を用意し、事業者様の着席位置の横に設置する予定です。デモンストレーションや資料投影の際は、当該機器に事業者様が持参されたPC等を接続してご説明ください。
質問3	プロポーザル業務仕様書について	「6.セキュリティ・非機能要件」の生成AIの提供環境につきまして質問です。 弊社が提供する生成AIサービスはLGWAN-ASPにて生成AIサービスを提供いたしますが、問題ないでしょうか。	問題ありません。本市においては、庁内端末から直接アクセス可能なLGWAN-ASPでの提供を推奨環境の一つとして想定しております。
質問4	プロポーザル業務仕様書について	「6.セキュリティ・非機能要件」のリモート接続環境とは具体的にどのような環境かご教授ください。	仕様書における「リモート接続環境」とは、庁内のLGWAN接続端末からインターネット上のサービスを利用するための「インターネット接続環境（Web分離環境）」を指しています。 現在はサーバー側で画面転送を行う方式を利用していますが、次回更新時には、ローカル端末側で動作するセキュアなインターネット接続方式へシステム更新を予定しています。 したがって、インターネット経由のサービスを提案される場合は、方式変更後も影響を受けないよう、一般的なWebブラウザのみで動作する構成としてください。また、インターネット経由でのアクセスの場合は、どのようなセキュリティ対策（通信経路の暗号化等）を講じるか、企画提案書にて明確に記載してください。

質問5	プロポーザル業務仕様書について	「6.セキュリティ・非機能要件」のリモート接続環境からはLGWAN-ASPへアクセスできる認識でよいでしょうか。	そのご認識とは異なります。LGWAN-ASPサービスをご提案いただく場合は、インターネット接続環境（リモート接続環境）を経由するのではなく、庁内端末のローカルブラウザからLGWAN網を介して直接アクセスしていただく構成を想定しております。
質問6	プロポーザル業務仕様書について	「7.導入支援・定着化サポート要件（1）」につきまして、全職員向けのオンサイト研修を行う場合の、1回の参加人数（会議室の人数上限等）を教えてください。また、課長級以上の管理職を対象としたマインドセット研修は何名ぐらいの参加を想定されていますでしょうか。研修の実施回数の参考にさせていただきます。	研修等で利用可能な庁内会議室の収容人数は、最大で20名程度です。 また、管理職の対象人数は、課長級以上が約50名、係長級が約60名となっております。 本件は仕様書等に記載の通り、生成AIを市役所の新たな「知的インフラ」として全職員の「標準装備」とすることを指すものです。一部の職員のみが使う状況を避け、庁内の多くの職員が日常業務で標準的に活用できる未来を想定しています。 これらの規模感と本市の意図を前提として、最も効果的と考えられる研修の構成（対象者の分け方、1回あたりの人数など）をご提案ください。
質問7	その他	（別紙1）システム機能要件回答表No.15についてのご質問です。 弊社が提供する生成AIサービスはセキュアなLGWAN環境での利用前提のため、無害化処理なしでアップロードが可能な仕様となっております。また、ダウンロード可能なファイルはテキストファイル（無害化対象外）のみとなっております。この場合にNo.15が求める要件を満たすと理解してよいでしょうか。	要件を満たす手法として提案可能です。 [質問1]の回答に記載の通り、LGWAN-ASPサービスをご提案いただく場合は、庁内端末から直接アクセス可能なため、ファイル無害化ソリューションを経由しない直接のアップロード仕様で問題ありません。ダウンロード制限の仕様についても問題ありません。 なお、アップロードされたデータの保存領域における暗号化等の保護や、AIの学習に二次利用されない（オプトアウト）ことなど、データ保護に関する安全性の根拠を企画提案書等に具体的に記載してください。
質問8	プロポーザル実施要領について	「3.参加資格に関する事項（2）業務の種類に応じ、知立市入札参加資格者名簿に登録されていること。」につきまして質問です。「業務の種類に応じ」とありますのは、入札参加資格者名簿に搭載されている以外になにか条件がございますでしょうか。	「あいち電子調達共同システム（物品等）」への事前の登録が完了し、知立市の入札参加資格者名簿に登録されていれば問題ありません。 ただし、ご登録されている「業務分類」が、今回のプロポーザル内容と明らかに異なる場合等には、別途事務局より詳細を確認させていただく場合があります。

質問9	プロポーザル実施要領について	7. 企画提案書等の提出 7 (3) 4.見積書を作成するにあたり、想定 の月間利用文字数がわかればご教授いただけますでしょうか。	本市で過去に実施した実証実験の推移をベースとした、あくまで現時点での試算となりますが、以下の規模感を目安としてご 検討ください。 今回の導入は全庁展開を見据えた「スモールスタート」と位置づけており、本稼働後は常に利用対象者の約1/5にあたる「約 100名の職員が、日常的なツールとして安定して使い続けている状況」を生み出すことを目標としています。これを前提とし た推計値は以下の通りです。 ・1日あたりのアクティブユーザー：約100名 ・1人あたりの利用（プロンプト入力）回数：1日平均10回程度 ・月間（20営業日）の総質問回数：約20,000回 RAGでの長文処理等を考慮し、1回あたりの入力文字数を平均1,000文字と仮定した場合、 【月間 20,000回 × 1,000文字 = 約2,000万文字（入力プロンプトのみ）】が一つの目安となります。 導入サポート等が上手く機能し定着化が進んだ結果、利用量がこの想定を大きく上回ることは、本市としても「うれしい悲 鳴」であり大いに歓迎すべき状況です。事業者様におかれましても、利用量の増加をあらかじめご理解いただいた上で、年度 途中の追加費用や利用制限が発生しない「定額制（または枠超過時に軽量モデルへ切り替わる等で実質使い放題となる構 成）」でのご提案をお願いいたします。なお、次年度以降につきましては、利用増加の状況や全庁展開へのステップを踏ま え、予算規模の拡大も想定しております。この将来的なビジョンも含めてご配慮いただき、今年度の上限予算内で実現可能 な、最適な定額プランと伴走支援体制をご提示ください。
質問10	プロポーザル実施要領について	7 (3) 7.検証用環境（試用アカウント）の提供につきまして、イン ターネット環境での提供とさせていただくことは可能でしょうか。	可能です。検証用環境（試用アカウント）については、インターネット環境での提供で問題ありません。
質問11	プロポーザル実施要領について	10 (3) プレゼンテーション参加者について、一部メンバーのリ モート参加は可能でしょうか。その場合、弊社PCにてリモート接続 を行う想定です。	一部メンバーのリモート参加は可能です。ただし、以下の条件を遵守してください。 1.プレゼンテーション当日は、1名以上4名以下のスタッフが現地（審査会場）へ直接来場すること。（完全リモートでの参加 は認められません） 2.リモート環境との接続や全体の進行は、現地に来場するスタッフが持参するPCを使用して行うこと。
質問12	プロポーザル実施要領について	10.プレゼンテーションについて、デモンストレーションを行う場合 は動画を用いて説明してもよいでしょうか。	動画を用いて説明していただいて問題ありません。 なお、動画を投影する際は、[質問2]の回答に記載の会場機材をご利用ください。
質問13	プロポーザル実施要領について	10 (6) 別途、Power Point 等で作成した資料を用いて説明するこ とを可能とする、とありますが、実機を用いたデモンストレーショ ンを行うことも可能という認識でよろしいでしょうか。	[質問2]の回答をご参照ください。

質問14	プロポーザル業務仕様書について	<p>RAGのデータ化作業の範囲について 仕様書「5.(2) 検索拡張生成 (RAG) 機能」について質問です。初期導入時に想定しているRAG対象文書の量 (ファイル数やページ数) の目安を教えてください。また、AIが読み込みやすいように文書を成形する作業 (データクレンジング等) は、市と受注者のどちらが担う想定でしょうか。</p>	<p>初期導入時は、市議会の会議録 (過去5~6年分) や、庁内文書 (規程集、予算関連書類等) を想定していますが、現時点で具体的なファイル数や総データ容量の目安は確定していません。 そのため、提案システムにおいて登録可能な容量の上限や制限がある場合は、企画提案書等に明記してください。また、データ量が多くなることによる回答精度の低下を防ぐための工夫や、導入時における運用上のアドバイス等を期待しています。 文書の成形作業 (データクレンジング等) については、市で行うことも可能ですが、事業者様にて対応いただける (あるいはシステム側で自動補正する機能等を有する) 提案を業務負担軽減の観点から高く評価いたします。</p>
質問15	プロポーザル業務仕様書について	<p>RAG環境のアクセス制御について 仕様書「5.(2) 検索拡張生成 (RAG) 機能」における「権限管理」は「望ましい」 (評価事項) とされていますが、御庁が想定されている部署・グループごとのRAG環境の論理的分離とアクセス制御の具体的な運用イメージを教えてください。</p>	<p>本市では、人事情報や特定の市民関連情報など、他部署に共有・参照させたくない機密性の高い資料をRAGで取り扱う可能性を想定しています。そのため、全庁向けではない情報については、部署・グループ単位等で公開範囲 (アクセス権限) を制御できることが好ましいと考えています。 また、セキュリティ面のみならず、自身に関係のないRAGの参照データベースや共有プロンプトがメニュー画面に羅列されると、目的の情報を探す手間が増え、職員の利用モチベーション低下に繋がると危惧しています。 したがって、RAGの参照先やプロンプト等の全体共有項目について、「全庁表示」か「特定の部署を絞って表示」かを制御し、ユーザーの画面をスリム化できる仕組みをご提案ください。(なお、個人単位までの細かな制御は現時点では想定していませんが、機能として有している場合は任意でご記載ください。)</p>
質問16	プロポーザル業務仕様書について	<p>研修・サポートの規模感について 仕様書「7. 導入支援・定着化サポート要件」の各種研修について質問です。市として想定している実施回数や形式 (対面・オンライン等) の目安はありますか。それとも、提案者が最適な回数・手法を自由に提案してよいでしょうか。</p>	<p>具体的な実施回数や形式の指定はありません。提案者様にて最適な手法を自由に提案してください。 [質問6]の回答にも記載の通り、市としては全庁的な定着化に向けて共に考え、継続的に伴走支援を行っていただけるパートナーを求めています。その意図を汲み取っていただいた上で、最適な研修プログラム・サポート体制をご提案ください。 なお、実際の実施頻度や構成等の詳細については、導入決定後に市との協議の上で最終決定・調整するものとします。</p>
質問17	プロポーザル業務仕様書について	<p>管理・分析機能で重視する項目について 仕様書「管理・分析機能」において、「利用者属性別の利用回数等」の可視化・分析を評価事項としていますが、その他に市として特に重視している、または具体的に把握したいと考えている分析項目やデータがあれば教えてください。</p>	<p>現時点で「必ずこの指標項目が必要」と特定しているものではありません。 ただし、将来的にはシステムの導入効果を、市議会や広報等を通じて外部へ展開・報告することを想定しています。生成AIの導入効果を具体的な数値で表すことは難しい領域であると認識しておりますが、だからこそ「利用人数 (アクティブ率) の推移」や「利用量の変化」、あるいは「業務削減時間の推計」など、対外的な報告や効果検証の材料として活用できるデータが取得できるかどうか重要です。 事業者様の知見を活かし、どのような数値や指標を取得でき、それを市としてどう活用できるかについて積極的にご提案ください。</p>

質問18	プロポーザル業務仕様書について	見積書に含める費用の内訳について 仕様書「4. 見積書(任意様式)」に記載する「契約締結日から令和9年3月31日までにかかる費用」について、初期導入・研修費用に加え、ライセンス費、サーバー維持費、保守費用など、どのような費用を内訳として含めるべきか、御庁の想定している計上方法（一括、月額、実費精算など）の考え方と合わせて教えてください。	計上方法については、従量課金や実費精算ではなく、追加費用の発生しない「一括（総額提示）」を基本としてください。 見積書の内訳については、初期導入費、ライセンス費、保守費用、研修支援費用などが分かるように記載してください。審査における費用対効果等の妥当性を評価するため、明細は詳細であるほど判断がしやすく好ましいですが、各社で独自の算定ルールやパッケージ形式があることは承知しております。そのため、無理に細分化する必要はなく、事業者様が通常用いているフォーマットやルールに沿った粒度で作成していただいて構いません。
質問19	プロポーザル業務仕様書について	LGWAN・ネットワーク環境の要件について 仕様書「6. セキュリティ・非機能要件」において、LGWAN環境からのセキュアな接続や無害化ソリューション（Smooth File等）との連携が求められています。御庁の既存のネットワーク構成（LGWANからVDI等へのアクセス経路）や、ファイル連携方式に関して、システム構築上の具体的な制約や指定条件があれば教えてください。	本市の既存のネットワーク構成において、標準的なWebブラウザを用いてサービスにアクセスできる仕様であれば、システム構成上の特段の制約や指定条件はありません。 （※インターネット経由のサービスを提案される場合は、[質問4]の回答の通り、将来的な接続環境の変更に影響を受けないよう、一般的なWebブラウザのみで動作する構成としてください。） ファイル連携方式に関する制約については、[質問1]の回答の通りです。インターネット経由での提供を想定される場合は、本市既存の「Smooth File」を介した手動の受け渡し運用を前提としていただいて問題ありません。もちろん、それをクリアするより効率的な代替手法を独自にご提案いただくことも歓迎いたします。
質問20	プロポーザル業務仕様書について	国内データセンター利用について セキュリティチェックリストの「No.49」および「No.51」において、クラウド基盤の所在と、AIのデータ処理および保存がすべて日本国内のデータセンターで完結することが求められています。 弊社は本システムを構築するにあたり、AWS（Amazon Web Services）の東京リージョン等を利用し、システム基盤だけでなくAIモデルによるデータ処理や保存も含めて、すべて同リージョン内（国内）で完結させる構成を想定しております。このようなすべて国内のデータセンターで完結させる構成による提案で、本要件を問題なく満たしているという認識で相違ないでしょうか。	ご認識の通りです。 AWSの東京リージョン等を利用し、データ処理および保存がすべて日本国内のデータセンターで完結する構成であれば、本要件を満たしているものとして評価対象となります。
質問21	プロポーザル業務仕様書について	Smooth File連携について「連携、またはそれに準ずる手法」とあるが、具体的にどのような連携方式が想定されているか。	[質問1]および[質問19]の回答をご参照ください。 本市が導入している「Smooth File」を利用した職員の手動によるファイル受け渡し運用をベースライン（要件を満たすもの）として想定しております。 その上で、「連携、またはそれに準ずる手法」としては、Smooth FileとのAPI等による自動連携機能や、事業者様独自のセキュアな代替機能（LGWAN-ASP環境における直接アップロード機能等）をご提案いただくことを想定しています。職員の手作業による業務負荷を軽減できる、システムのなアプローチをより高く評価いたします。

質問22	プロポーザル実施要領について	プレゼンテーション審査にて、生成AIサービスの画面デモを行うことは可能か。	可能です。詳細については[質問2]の回答をご参照ください。
質問23	提出資料（企画提案書等）について	機能要件回答票の『RAG構築にかかる工数を工程ごとに記載してください』とありますが、本仕様書において受託者によるRAGデータの登録作業は業務範囲に含まれていないという理解でよろしいでしょうか。また、ここでいうRAG構築とはシステムの環境構築作業を指すという理解でよろしいでしょうか。	基本的にはシステムの環境構築作業（初期設定や検索精度のチューニング等）を必須の業務範囲として想定していますが、RAGデータの登録（文書の成形やクレンジング作業等）を事業者様の業務範囲に含めるかどうかも含めて、提案の一部として位置づけています。 [質問14]の回答にも記載の通り、事業者様にてデータ成形等の登録作業を担っていただける（またはシステム側で自動補正する機能を有する）提案は、本市の業務負担軽減の観点から高く評価いたします。 したがって、機能要件回答票の「RAG構築にかかる工数」には、システムの環境構築作業に加え、事業者様が実施（または支援）を想定しているデータ登録・成形等の工程がある場合はそれらも含め、提案される作業範囲が明確にわかるように記載してください。